BRILLIUS
AFTER SCHOOL

Brillius
支援プログラム

01 Brilliusの療育の基本方針

02 支援プログラム

03 教科学習に対する取り組み

04 その他の支援プログラム

05 本人以外に対する支援

06 職員の質の向上に資する取り組み

07 年間行事予定

01 Brilliusの療育の基本方針

Brillliusは学習に強みを持つ放デイです。一方で、学習はあくまでも方法の一つにすぎず、こどもの人生を俯瞰してみたとき、様々な課題への対応が必要だと考えています。

目的	豊かな人生	こどもたちがいきいきとした、豊かな人生を生きることを目的とします。
目標	自立	自立することとは、自分自身に責任をもち、適切に他の人の力を借りることができる状態としています。
手段	まなび	これらの目的・目標を達成するための手段として、まなびがあります。

具体的な能力

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
				
自己理解	教科学習(学校の勉強)			ソーシャルスキル
セルフコントロール	環境調整力	課題設定力	語彙力	職業スキル
生活スキル・習慣	運動能力	認知の偏りへの対応	論理的思考力	人生設計
	数的感覚・概念の形成		読み書き力	スケジュール管理

02 支援プログラム

前項、身につけたい能力に対し、具体的に取り組んでいるプログラムです。

健康・生活



- 自己理解
  - セルフチェック
  - 気持ちを整理する支援
- セルフコントロール
  - 気持ちと向き合う方法
- 生活スキル・習慣
  - 生活習慣改善支援

運動・感覚



- 環境調整
- 感覚統合
- 環境調整力
- 運動能力
  - 微細運動
  - 粗大運動
  - トレーニング
  - ビジョントレーニング
- 数的感覚の醸成
- 数的感覚・概念の形成

認知・行動



- モチベーション管理
- 教科学習（学校の勉強）
  - 勉強の仕方の支援
  - スタートラインチェック
- 課題設定力
  - 課題設定支援
  - 学びやすい方法
- 認知の偏りへの対応
  - 接し方の工夫
  - ICTの活用
- 数的概念の醸成

言語・コミュニケーション



- 語彙力
  - 語彙力強化
- 論理的思考力
  - プログラミング
  - 謎解き、ディベート
- 読み書き力
  - 読解力トレーニング

人間関係・社会性



- 多様な経験
- ソーシャルスキル
  - SST
  - お楽しみ会
- 職業スキル
  - 将来のことを考える支援
- 人生設計
- スケジュール管理
  - スケジュール管理支援

本人以外の支援



- 家族支援
- 学校支援
- 地域交流会の開催
- 保護者会・保護者交流会の開催

03 教科学習に対する取り組み

学校の勉強は、もっとも力を入れていることです。初期アセスメントによって現在の習熟度や課題を洗い出し、本人にあった課題設定を行います。また、種々の微調整をしながら、気持ちよく学習できる環境を目指します。

スタートラインチェック

- 算数・数学、読解などを中心に、現状の習熟度を把握します。
- 取り組みの様子、ご本人との対話、保護者のからの情報などを総合して、課題の洗い出しを行います。

課題設定支援

- 学年に関係なく、無理のないスタートラインを設定し、丁寧に積み上げます。
- 場合によってはすべてできるようにするのではなく、課題の取捨選択を行います。
- 苦手な課題に直面したら、むやみにできるまでやるのではなく、他のできる課題も混ぜながら慎重に取り扱います。
- 単純な繰り返しではなく、飽きないように注意しながら繰り返します。

接し方の工夫

- 高圧的でない、やわらかな接し方を行います。
- お子様を主体としたモチベーション管理を行う。無理にやらせることはしない。
- 新しいことを行うときには、保護者様だけでなく、必ずお子様に対しても説明を行う。
- 必要に応じてじっくり話を聞く。お子様の気持ちを尊重する。

環境調整

- 視覚、聴覚などの過敏性や鈍麻性に配慮し、ついたてやパーティションを使用したり、場所の設定を工夫したりする。

ICTの活用

- まなびやすさへの配慮があるICT教材のeboardを採用。適切に使用する。
- 読み書きに苦手さのあるお子様に、ICTを活用した支援を行う。
- Googleカレンダーによりスケジュール管理を学ぶ。

モチベーション管理

- 本人に対しても、学習する意義を問い続け、自分なりの答えをもって取り組んでもらいます。
- ブリリアスをどう利用したいか、どのような支援をしてほしいかを考えてもらいます。

学びやすい方法

- 紙、ICT、具体物など、様々な学習方法を用意しておき、個々の特性や状況に合わせて選択する。
- 個々に合った教材を選択する。
- 集中する時間と休憩する時間の長さとタイミングを見極め、適切に設定する。

勉強の仕方の支援

- 家庭における集中できる環境設定の支援を行う。
- 一緒にスケジュール管理を行う。

読解力トレーニング

- 読解力は、文章から意味を読み取るだけでなく、会話を理解するためにも重要な力であり、特に重視して取り組んでいます。
- 現在の読解力にあった課題を設定し、無理なく支援を行います。

数的感覚・概念語彙力の強化

- お子様によっては、小学校の算数に取り組むために必要な数的感覚が身についていなかったり、読解力のベースとなる語彙力が十分でないことはよくあります。その場合、これらを補う取り組みを行います。

04 その他の支援プログラム

本人、保護者のお話、学習中のようすなどを総合的に評価し、必要な支援を行っています。

心理的支援

セルフチェック・気持ちを整理する支援	気持ちと向き合う方法・SST
• 自分自身を知ることは、課題の改善や気持ちよく過ごすための環境設定の第一歩です。対話やチャックリストを用い、現在の心身の状態を把握してもらいます。 • 気持ちにおける課題は、対話を通して整理を促します。	• セカンドステップ、各種ワークシートなどの教材を使い、知識の習得を中心に支援しています。 • 日常での変化を保護者やその他の方から情報をいただき、微調整していきます。

作業療法・理学療法

感覚統合	ビジョントレーニング	微細運動粗大運動トレーニング	生活習慣改善支援
• 感覚統合とは、様々な種類の感覚を、分類したり整理したりする（統合）ことです。 • 必要な刺激の入力やトレーニングなどで、感覚統合を促すことができることがあります。	• 読みの困難さの原因の一つに、目の動きがあると言われています。 • 目の動きをスムーズにするトレーニングを行うことで、読みがスムーズになることがあります。	• 姿勢保持、手先の巧緻性、全体の身体の使い方など、普段の活動で見えてくる運動能力への課題は多いです。 • そのうち、学習に直結する課題を中心に、トレーニングを行います。	• 自立に向けて、時間通りに物事を進めることや、生活力をあげることは必要不可欠です。 • 本人と話し合いながら、生活習慣の改善に向けた支援を行います。

その他支援

謎解き、プログラミング・ディベート	お楽しみ会、多様な経験	将来のことを考える支援	スケジュール管理支援
• 主にScratchを使ったプログラミングや、謎解き、ディベートなど、論敵的思考を必要とする取り組みを行います。 • 学習に苦手さがあるお子様でも、自由に考える、目的をもって考えることを楽しむことができることが多いです。	• お楽しみ会を自分たちで企画したり、その他の見学、体験を多く取り入れています。 • そのような経験から、得意なこと、好きなことが見つかり、将来に向けて考えるきっかけになることがあります。	• 年齢に応じて職業観を醸成したり、自己の得意不得意を整理したり、将来のことを考える支援を行います。 • 高校、特別支援学校高等部、大学、専門学校などの進学、職業に関すること、福祉制度に関することなど、幅広い情報提供を行います。 • 高校や職場、就労移行支援事業所の見学等を行い、実際のイメージをもってもらいます。	• Googleカレンダーなどを用いて、スケジュール管理の方法をまなびます。

05 本人以外に対する支援

ご家庭はもちろんのこと、学校や地域に対する支援を行っています。

家族支援

面談・電話・LINEの活用	進路や子育てに関するご相談	保護者会・保護者交流会の開催
• LINEを含めた様々なツールで連絡を使い、いつでも情報連携やご相談が受けられるようにしています。	• 進路選択について情報提供をするとともに、本人を含めて一緒に考えます。 • ご家庭でのことを保護者の方と相談しながら、改善を行っていきます。	• 定期的に保護者会、保護者交流会を開催し、情報提供や保護者同士の交流の場をご提供します。

地域支援

学校支援	地域支援・交流
• 保護者を含めて学校とよりよい支援について情報交換を行い、それぞれの立場からよりよい支援を目指します。 • 学校に訪問して授業を見学させていただき、本人支援や学校支援の重要な情報としています。	• 地域のこどもも含めたイベントを開催し、地域とのつながりをつくります。

移行支援

進路選択支援	地域移行支援
• 学習面、生活面、情緒面などから、進路選択のための情報提供、情報整理を本人、保護者と一緒に行います。 • 環境が変わる場合、会議等で配慮事項をお伝えします。	• 放課後等デイサービスの閉じられた環境でだけでなく、本人が「友達と遊びたい」、「塾でもっとがんばってみたい」という気持ちを大事にします。 • 必要に応じて地域の関係機関に対して情報提供を行います。

06 職員の質の向上に資する取り組み

職員のスキルアップに積極的に取り組んでいます。

全体研修

全体研修

- 知的障害、発達障害などの障害理解、ガイドラインなどの制度・法令の理解、こどもの権利条約などの理解など、定期的に全体研修を行っています。

オンライン研修

- ジョブメドレーアカデミーを利用し、毎月の研修課題を設定し、オンラインにて研修を実施しています。

不定期研修

- 希望者に外部の研修機会を提供しています。

初任者研修

- 初任者に向けては、口頭での研修（1～2日間）、OJT（2週間～1か月）を行い、事業所理念や事業所としての支援スタンスを学んでいただきます。

スキルアップ、資格取得支援制度

スキルアップ支援

- 年６万円（非常勤の職員は年３万円）の自由に使えるお金を設定し、書籍、資格取得その他の自主的なスキルアップに利用できるようにしています。

資格取得支援

- 児童発達支援管理責任者については、基礎研修から実践研修のすべての研修を会社負担とし、OJTも障害理解やマネジメントまで、積極的に実施します。

採用活動

採用

- ホームページ、SNSを用いて当事業所の考え方を発信するとともに、働きやすい環境を維持することにより、継続的な求人への応募を実現しています。
- 応募者に対しては、履歴書・職務経歴書による書類選考、および面接試験と筆記試験を課して、適性を判断します。

07 年間行事予定

年度によって変更の可能性があります。

月	行事等	月	行事等
4月	• 自然災害BCP研修、訓練 • 避難訓練（地震）	10月	• 避難訓練（火災） • 親子参加イベント • 虐待防止研修
5月	• 保護者会／保護者交流会	11月	
6月	• 通報訓練	12月	• 保護者交流会
7月		1月	• 送迎バスにおける見落とし防止研修、訓練
8月	• 夏祭り • 地域交流イベント • 不審者対応訓練	2月	
9月	• 保護者交流会	3月	• 進級進学おめでとう会 • AED使用訓練

07 年間行事予定

年度によって変更の可能性があります。

4月
- 自然災害BCP研修、訓練
- 避難訓練（地震）

5月
- 保護者会／保護者交流会

6月
- 通報訓練

7月

8月
- 夏祭り
- 地域交流イベント
- 不審者対応訓練

9月
- 保護者交流会

10月
- 避難訓練（火災）
- 親子参加イベント
- 虐待防止研修

11月

12月
- 保護者交流会

1月
- 送迎バスにおける見落とし防止研修、訓練

2月
- 進級進学おめでとう会
- AED使用訓練

3月